

<NEWS RELEASE>

報道関係各位



佐渡市



新潟県

2020年12月1日

年末年始のおうち時間に、「さどが島」に行こう！？ 「あつまれ どうぶつの森」にて「さどが島」を12月10日公開！ 離島の自治体として、「あつ森の島づくり」は初の取り組み

新潟県佐渡市は、任天堂株式会社のNintendo Switch(TM)専用ソフト「あつまれ どうぶつの森」のゲーム内で、佐渡市オリジナルの「さどが島(しま)」を12月10日(木)より公開いたします。



昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、遠方への旅行になかなか行けない状況の中でも、気軽に佐渡市の観光名所や街並みなどをリモートでお楽しみいただければとの思いから、この度「あつまれ どうぶつの森」のゲーム内で「さどが島」を制作いたしました。離島の自治体による島づくりとしては、初の取り組みとなります。おうち時間で過ごすクリスマスや年末年始にぜひご来島ください。

「さどが島」では、実際の佐渡島をモチーフにした形の島の中に、様々なエリアをご用意しました。ゲーム内では GIAHS（ジアス：世界農業遺産）に認定された「トキと共生する佐渡の里山」をイメージして制作した「棚田・田んぼアートエリア」や、金鉱石やスコップで佐渡金山を表現した「金山エリア」など、佐渡市に関連したコンテンツをお楽しみいただけます。その他にも「さどが島」を存分にお楽しみいただける仕掛けや、こだわりのデザインを島内でご覧いただけます。皆様に遊びに来ていただくための「夢番地」は後日改めて発表させていただきます。

また、佐渡市内の観光業従事者の方が独自に制作しているマイデザインを展示できるハブ施設を「さどが島」島内に設置いたします。佐渡市と佐渡市内のプレイヤーが一体となって島を盛り上げる「フェス参加型の島づくり」を、自治体初の取り組みとして実施いたします。

佐渡市は、2011年6月に GIAHS（ジアス：世界農業遺産）に認定され、2021年となる来年は認定10周年を迎えます。佐渡市ではこれからもさらに若い世代に GIAHS に選ばれた「佐渡」のファンになってもらうための取り組みを進めてまいります。

また新潟県では、佐渡市が進める GIAHS（ジアス：世界農業遺産）PR 活動等の取り組みを支援しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

佐渡市 農業政策課 里山振興係 担当 宇治 TEL：0259-63-5117

佐渡市ホームページ：<https://www.city.sado.niigata.jp/>

<報道参考資料>

全国最大の離島「佐渡島」

佐渡島は新潟県沖の日本海に位置する全国最大の離島で、全島が佐渡市の区域となっています。

総面積は 855.34 平方キロメートルで、島の北部に大佐渡山地、南部に小佐渡山地が平行し、その間には広大な平野を形成しています。

自然景観に恵まれた島内では、野生のトキが田園の上を飛ぶ姿が見られるほか、佐渡金銀山などで歴史的な景観を楽しむこともできます。



GIAHS（世界農業遺産）とは

GIAHS（ジアス：世界農業遺産）とは、FAO（国連食糧農業機関）が提唱している「Globally Important Agricultural Heritage Systems」の略称です。後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地利用方式や景観について、FAO が認定するものです。

佐渡市は 2010 年 12 月に石川県能登地域とともに日本初の認定申請をし、2011 年 6 月、両地域の登録が決定しました。今後、農業振興だけでなく観光振興のきっかけとしても期待できます。



国内で初めて認定された新潟県佐渡市の「農業遺産」

「トキと共生する佐渡の里山」（2011 年認定）

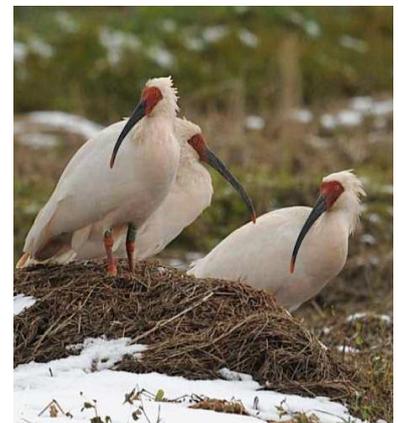
<特徴>

生きものを育む農法を島内の水田で実施し、トキをはじめとする豊かな生態系を維持する里山と、集落コミュニティを高める多様な農村文化を継承しています。

<認定の経緯>

GIAHS 制度は 2002 年に創設され、初期は南米、東南アジア、アフリカなど経済成長の途上にある国々を中心に認定されていましたが、日本特有の環境「里山」が多く残り、国特別天然記念物「トキ」の野生復帰を進める中で、「朱鷺(トキ)と暮らす郷づくり認証制度」「生きものを育む農法」を取り入れていた佐渡市が、自然環境と農業生産活動の循環システムを作り上げることを目的として、2010 年に申請しました。

同時に申請した石川県能登地域とともに、2011 年に国内で初めて認定。国内の島としても唯一の GIAHS 認定地域となっています。



「朱鷺と暮らす郷」が佐渡の田んぼでアートに！

2017年に佐渡市が認証するお米「朱鷺と暮らす郷」の10周年記念事業として始まった田んぼアート。4年目となる2020年は佐渡市の象徴でもある「トキ」と、ユネスコ世界遺産登録を目指す「佐渡金銀山」がコラボした図柄で制作されました。

